

# あぐりサポートニュース

福島県農業振興公社だより

第 11 号 平成15年 7月

発行元 福島市中町 8 番 2 号  
財団法人福島県農業振興公社  
TEL 024-521-9833 FAX 024-524-2393

## 「理事長就任にあたって」



理事長 野地 陽一

本年4月1日に財団法人福島県農業振興公社理事長に就任いたしました。

皆様には、日ごろより当公社の運営につきまして、多大なるご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、当公社は、県農政における構造政策の推進機関として、県、市町村のご支援、ご協力の下、関係団体との連携を密にして、「農業経営基盤強化促進法」に基づく農地保有合理化法人並びに「青年等の就農促進のための資金の貸付け等に関する特別措置法」に基づく青年農業者等育成センターとして、農地の利用集積による効率的な土地利用や農業・農村の担い手育成を目指した農地保有合理化事業を始め就農促進事業等の県行政の補完的な公益事業に取り組んでおります。

本県農業が、その生産力を十分に発揮し、持続的に発展していくためには、意欲ある担い手の育成、確保とともに、新規就農者

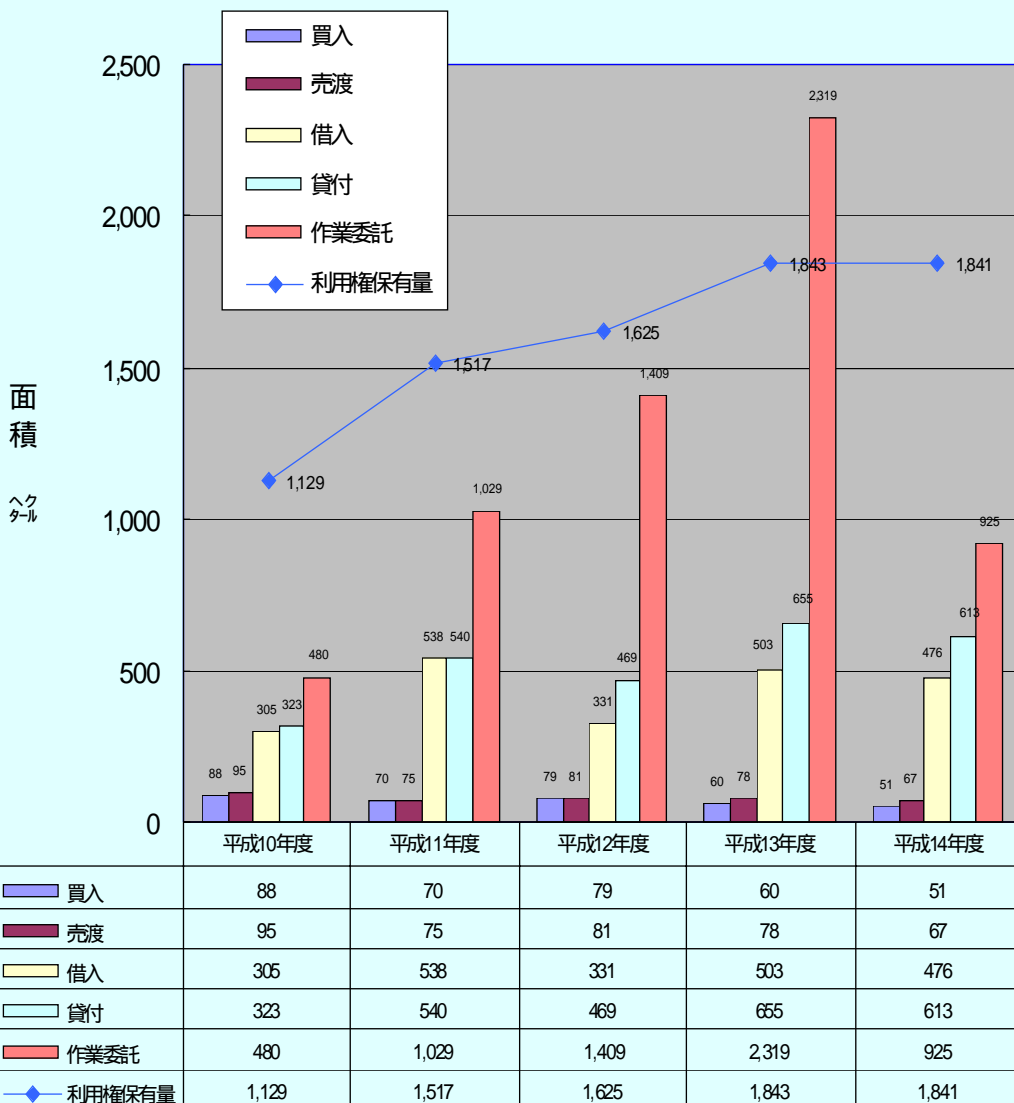
の安定的な確保が現在大きな課題となっておりますことから、当公社の果たす役割は、益々重要性を増してきているところであります。一方、近年の農業・農村を巡る情勢の大きな変化の中で、当公社の経営状況は、年々厳しさを増してきており、単年度収支の均衡と累積欠損金の縮減を図るため、組織及び人員体制の見直しを始め、事業の積極的な推進による収入の確保や、効率的な業務の執行による支出の削減等を中心とした、平成18年度までの5ヵ年間を対象とする第二次経営合理化計画を平成14年6月に策定し、実施しているところであります。

経営合理化計画実施初年度となった平成14年度は、県及び関係機関等のご指導を頂きながら、役職員が一丸となって努力した結果、概ね計画どおりの単年度の収益確保と累積欠損金の縮減を図ることができました。

今後も、この経営合理化計画に基づき、経費の節減等を図りながら、公社事業の一層の推進に取組み、本県農業の持続的な発展に寄与して参る所存でありますので、益々のご支援、ご協力をお願い致しまして、ご挨拶とさせていただきます。

「定着する！公社活用型利用集積」

福島県農業振興公社事業実績(10～14年度公社実績ベース)



平成14年度農地保有合理化事業等の実績は左表の通りです。

当年度は手数料の見直しから農作業受委託では一時的に減少となりましたが、全体的には公社を活用した利用権設定・農作業受委託の定着化が窺えます。

一方、売買は米価下落等の影響により担い手の規模拡大意欲の減退から減少傾向が続いています。

猪苗代町・塩川町に地方駐在員（公社事業がより身近になります！）

当公社の地方駐在員として、猪苗代町と塩川町の3名の方が採用されました。

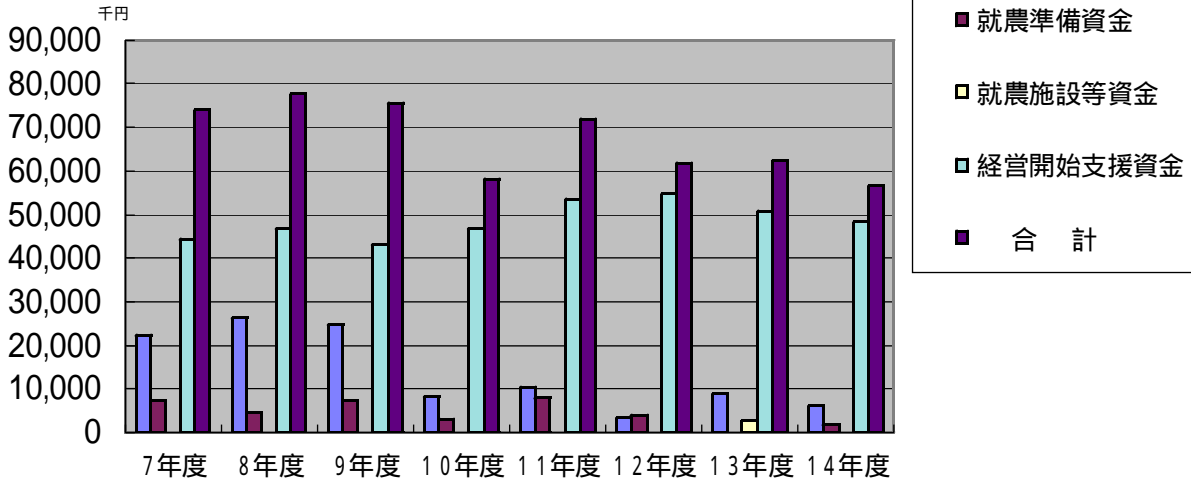
活動内容は、 合理化事業推進に係る普及啓発 流動化の情報収集伝達  
 基盤整備地区の農用地利用集積支援 地域や集積の利用調整支援  
 売買、貸借等の円滑実施に関すること 地域農業者、担い手の相談活動  
 を行います。今後のご活躍が期待されております。

猪苗代町 駐在場所：猪苗代町農村環境改善センター  
 氏名：矢森章雄 佐藤保

塩川町 駐在場所：塩川西部土地改良区  
 氏名：左雨信一郎

平成14年度末の貸付累計実績747件、538,336千円

就農支援資金等の貸付実績(7~14年度)



貸付年度	就農支援資金		経営開始支援資金		合計	
	件数	貸付額	件数	貸付額	件数	貸付額
7年度	27	29,700千円	62	44,400千円	89	74,100千円
8年度	37	30,900	73	46,800	110	77,700
9年度	32	32,340	62	43,200	94	75,540
10年度	15	11,400	69	46,800	84	58,200
11年度	19	18,500	84	53,400	103	71,900
12年度	8	7,300	83	54,600	91	61,900
13年度	10	11,900	77	50,600	87	62,500
14年度	11	8,096	78	48,400	89	56,496
合計	159	150,136	588	388,200	747	538,336

平成14年度末現在の就農支援資金、経営開始支援資金の両資金合わせた貸付実績は、747件、538,336千円となっています。

総務課

当社の理事・監事及び評議員を紹介します。

1. 理事及び監事

2. 評議員

役職名	氏名	職名	役職名	氏名	職名
理事長	野地 陽一	福島県農林水産部長	会長	小野木 武夫	福島県農林水産部政策監
専務理事	星 恒徳	元福島県会津農林事務所長	副会長	佐藤 勝哉	JA福島中央会常務理事
理事	植田 英一	福島県酪農業協同組合代表理事組合長	評議員	貝沼 幹夫	福島県農林水産部総務予算グループ参事
"	飯野 陽一郎	福島県土地改良事業団体連合会副会長	"	茂木 功一	福島県農林水産部農村計画グループ参事
"	相楽 新平	福島県市長会(須賀川市長)	"	河野 郷	福島県農林水産部普及教育グループ参事
"	栗城 春夫	福島県町村会副会長(河東町長)	"	羽根田 一郎	福島県町村会常務理事兼事務局長
"	安田 壽男	JA全農福島県本部運営委員会会長	"	水野 秀一	福島県農業会議事務局長
"	佐川 栄蔵	福島県農業会議会長職務代理者	"	阿部 正	福島県土地改良事業団体連合会農村振興部長
監事	音高 純夫	福島県出納局長	"	高田 泰	農業委員会(原町市農業委員会会長)
"	新田 邦彦	福島県信用農業協同組合連合会代表理事専務	"	小林 一良	福島県指導農業士会長

## 公社利用者の声



会津坂下町

有限会社 しんかい農耕

代表取締役 石田 栄

農業振興公社の会津方部の担当者から、「公社で広報紙を発刊しているので執筆をお願いします。」と言われ何を書くべきか、私が執筆してよいのか頭の中で複雑な思いが駆けめぐりましたが、今後の要望等も含め執筆することとしました。

今年1月に 有限会社 しんかい農耕を設立し個人経営から法人経営へ移行し、会津坂下町において、水稻約30 ha（借入地含む、作付け20 ha、減反10 ha）、作業受託約30 ha、転作小麦約30 haを経営しております。

平成14年度 規模拡大にあたり公社から農地を取得しましたが、その際農業機械リース事業や助成金交付事業を活用させていただきました。

農業機械リース事業では、トラクター50 PSを導入し、また土地利用型大規模経営促進事業により助成金の交付を（5年間）受けることが出来ました。これらの事業を活用することにより単年度の機械経費の支出が軽減されたことや、農地取得のための初期投資の負担軽減が図られたことから、今後ともこれらの事業を継続していただき認定農業者の規模拡大をサポートして頂きたいと思っております。



（リース事業により導入したトラクターと石田氏）

## 編集後記

忘れかけていた10年前の記憶が蘇る寒い夏、農作物への影響が懸念される中、青少年犯罪や若年齢層が犯罪に巻き込まれるニュースが連日のように報道され何かと暗い話題が多い昨今、明るい話題と言えば米メジャーリーグで活躍している日本人選手に注目が集まりますが、輸入の時代から輸出の時代へ日本のプロ野球の行く末がちょっと心配です。 S, S

問い合わせ

あて先 〒960-8681  
福島県福島市中町8番2号  
財団法人福島県農業振興公社 総務課  
TEL 024(521)9834 FAX 024(524)2393  
みなさんのご意見ご感想をお寄せください。

この広報誌は、再生紙を利用しております。

「あなたを、守る シートベルト 忘れないでね」